

基発第0816001号
平成17年 8月16日

大臣官房会計課福利厚生室長 殿

労働基準局長

石綿の使用状況等調査について（回答）

標記について、別添のとおり回答するのでよろしくお取り計らい願いたい。

石綿(アスベスト)の使用状況等調査

機関名 岩手県庁
 担当者 総務課 秘書 人事 東 幸宏
 連絡先(電話) 5402

1 石綿に関わる業務

①現在と②過去の状況について、それぞれ該当する□にチェックをし、過去にあった場合は「昭和」又は「平成」のいずれかに○を付けて当該業務の終了年を記入してください。(以下2～8についても同じ。)

職員は、常勤、非常勤の両方を含みます。(以下2～8についても同じ。)

(1) 職員(非常勤職員を含む。以下同じ。)に、石綿そのものを取り扱う業務(人事院規則10-4第16条に規定する「特定有害業務」)が

- ① 現在の状況 ない ある
 ② 過去の状況 ない ある(昭和・平成 年頃までであった) 不明
 「ある」の場合 具体的な業務

()

(2) 職員に、石綿を使用した機械、器具、製材等を取り扱う業務が

- ① 現在の状況 ない ある
 ② 過去の状況 ない ある(昭和・平成 年頃までであった) 不明
 「ある」の場合 使用している(していた)機械、器具、製材等名

()

(3) 上記(2)で使用している機械、器具、製材等の整備、清掃、部品交換等に当たり、職員が石綿に触れることが

- ① 現在の状況 ない ある
 ② 過去の状況 ない ある(昭和・平成 年頃までであった) 不明
 「ある」の場合 整備等している(していた)機械、器具、製材等名と業務の内容

()

2 調査、立入検査等

石綿製造事業所等の調査、立入検査等に伴って石綿の粉じんにはく露するおそれのある業務に従事する職員が

- ① 現在の状況 いる いない
 ② 過去の状況 いる いない (昭和・平成 年頃までいた) 不明
 「いる」の場合 ばく露のおそれのある業務
 ()

3 船舶の壁面等における露出

船舶の天井、壁面、配管等に石綿製品等を使用しており、それが職員が出入りする空間に露出していることが

- ① 現在の状況 ない ある
 ② 過去の状況 ない ある (昭和・平成 年頃まであった) 不明
 「ある」の場合 使用されている場所等
 ()

4 国有以外の庁舎の壁面等における露出

国有以外の庁舎の天井、壁面、配管等に石綿製品等を使用しており、それが職員が出入りする空間に露出していることが

- ① 現在の状況 ない ある
 ② 過去の状況 ない ある (昭和・平成 年頃まであった) 不明
 「ある」の場合 使用されている場所等
 ()

5 ばく露するおそれのある場所

庁舎、船舶等で石綿の損傷、劣化等により粉じんにはく露するおそれのある場所が

- ① 現在の状況 ない ある
 ② 過去の状況 ない ある (昭和・平成 年頃まであった) 不明
 「ある」の場合 場所等の詳細
 ()

6 悪性中皮腫

悪性中皮腫にり患又は悪性中皮腫で死亡した者(石綿に関わる業務への従事の有無に拘わらない)が

- ① 現在の状況 いる いない
 ② 過去の状況 いる (昭和・平成 年頃) いない 不明
 過去「いる」場合 人数、各人ごとの業務
 []

7 肺線維症

石綿に関わる業務に従事していた可能性のある職員で、肺線維症に罹患又は肺線維症で死亡した者が

- ① 現在の状況 いる いない
- ② 過去の状況 いる（昭和・平成 年頃） いない 不明
- 過去「いる」場合 人数、各人ごと業務

[]

8 肺がん

石綿に関わる業務に従事していた可能性のある職員で、肺がんに罹患又は肺がんで死亡した者が

- ① 現在の状況 いる いない
- ② 過去の状況 いる（昭和・平成 年頃） いない 不明
- 過去「いる」場合 人数、各人ごとの業務

[]

9 石綿に関わる対応についての意見等

[]

以 上

別添

機関名 労働基準局

石綿に関わる業務の従事者

別紙「石綿（アスベスト）の使用状況調査」票、1(1)～(3)及び2で「ある」又は「いる」と回答した業務等について、以下にご記入ください。

番号	具体的業務（注）	従事期間	従事職員数	従事頻度
		昭・平 年 月 ～ 昭・平 年 月	現従事者数 人 過去の年間 平均従事者数 約 人	勤務時間全体の () %程度
		昭・平 年 月 ～ 昭・平 年 月	現従事者数 人 過去の年間 平均従事者数 約 人	勤務時間全体の () %程度
		昭・平 年 月 ～ 昭・平 年 月	現従事者数 人 過去の年間 平均従事者数 約 人	勤務時間全体の () %程度
		昭・平 年 月 ～ 昭・平 年 月	現従事者数 人 過去の年間 平均従事者数 約 人	勤務時間全体の () %程度

注 1(1)、2については具体的業務ごとに、1(2)及び(3)については使用している機械、器具、製材等ごとに業務内容を具体的に記入してください。